

News Letter No.67

九州水害被災地支援



2017.07.08-09 | 福岡

災害発生から3日後に被災地に入り、避難所にて子どもたちとアートワークショップを開催

2017年7月5日より、九州地方北部で豪雨により大きな被害が発生しました。広範囲での浸水や家屋の倒壊等の被害が出ました。当基金 代表鳥居が、災害3日後に豪雨の被害にあった朝倉地域を中心に、4箇所の避難所(朝倉市立杷木中学校、らくゆう館、朝倉地域生涯学習センター、ピーポート甘木)にて、子どもたちと絵を描くワークショップを行いました。被災

地では、ご主人を今回の災害により亡くされ落ち込んでいるご婦人やお身体のご不自由な方、ヘリコプターで救助されたがこれからどうしたら良いか分からないと途方にくれる老人に出会いました。避難所で描かれた子どもたちの絵が、避難所で暮らして居る方々を励ましていました。早く元のような時間を取り戻せる事を祈っています。





2017.06.01-07 | イギリス・マンチェスター

マンチェスター・アリーナに於ける爆発物事件で傷ついた子どもたちを励ます絵を描き、子どもたちから子どもたちへ

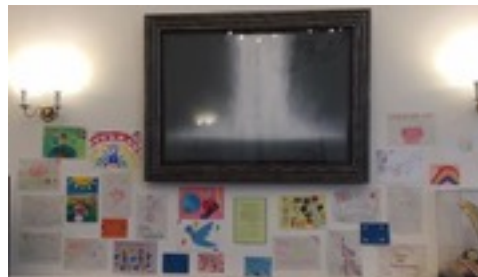
5月22日にイギリス・マンチェスターにあるマンチェスター・アリーナにて、自爆テロとみられる爆発物事件があり、8歳の女の子を含む22人が亡くなりました。東北地震後に励ましの絵をイギリスの子どもたちからプレゼントされたお礼に、イギリスにみんなを励ます絵を贈ろうというプロジェクトを立

ち上げました。子どもたちの絵画は、在英国日本国大使館で一週間ほど展示された後、マンチェスター名誉領事に送付され、7月12日に名誉領事がマンチェスター近郊のターレトン・コミュニティ校（Tarleton Community School, 最年少の犠牲者で8歳の少女が通っていた学校）を訪問して、寄贈を

行いました。名誉領事は校長及び各クラス代表の子どもたちからなる学級委員会と会い、子どもたちの絵画を教室で広げて鑑賞しました。同行校長は9月始まりの来学期に行う美術のプロジェクトに子どもたちの絵を活用することを考えており、来年5月に実施する展覧会にも展覧する予定です。



事務局に届けられる子どもたちの作品



↑在英国日本国大使館にて、千住博先生の作品と共に展示される子どもたちの作品

在英国日本国大使館にて、子どもたちの作品を寄贈→

←香川の高校の授業内で取り上げられ、想いを込めて絵を描く高校生たち



ART WORKSHOP

2017.06-08に開催したアートワークショップ

東京 Tokyo

2017.07.25 | ブルガリ銀座タワー

ブルガリ 東京・大阪レストランのご協力により、 障害のある子どもたちをレストランにご招待！



障がいのあるお子さんと親御さんを銀座のブルガリ レストランにご招待頂き、絵を描くワークショップとランチ会を行いました。子どもたちの為に、日本で唯一ミシュランを獲得し保持しているイタリアンシェフ、ブルガリ イルリストラテのルカ・ファンティンさんによるスペシャルランチが用意され、素敵なひと時を過ごしました。

普段は、人の目を気にしたり、安全面が心配でお出かけも諦めてしまう子どもたちやお母さまも、ゆったりと夢のような時間を楽しみました。普段は人見知りでお話できない子どもも満面の笑顔。普段、偏食であまり食べられない子どもも食事を綺麗に平らげました。

2017.08.01 | 六本木ヒルズ

カンボジアの子どもたちに元気を届ける絵を描こう ゴールドマン・サックス証券株式会社とワークショップを共催。



六本木ヒルズにて、ゴールドマン・サックス証券株式会社と共に、カンボジアの子どもたちへ贈る絵を描くワークショップを開催しました。クイズを通してカンボジアの国を学び、カンボジアの子どもたちに日本の文化を紹介する絵を描きました。綿やフェルト、様々な素材を使って作業しました。

2017.08.23 | セルリアンタワー能楽堂

Kyogen Lounge 絵を描くワークショップ

セルリアンタワー能楽堂にて、大蔵 基誠様主催のKyogenLoungeが開催され、子供地球基金が参加し、絵を描くワークショップとグッズ販売を行いました。

「狂言」を楽しむコツは“想像力”。子供地球基金も、想像力豊かな子どもたちに育てて欲しい、そんな願いをもって活動を続けています。



2017.06. 17 | キッズアースホーム東北 ミスユニバースファイナリストの方達と！ 「自分の顔」を描くワークショップ

キッズアースホーム東北にて、絵を描くワークショップを開催。自画像や動物、たくさん素敵な絵が描けました。ミスユニバース東京代表小柴さんと愛知代表の牧野さんがボランティアで参加してくださいました。しもん君と想来ちゃんの夢は二人で将来一緒にたこ焼き屋さんを開くことです。



2017.06. 30-7.01 熊本被災地 熊本被災地支援 仮設住宅を中心に継続的に支援

熊本の被災地で絵を描くワークショップを行いました。仮設住宅に住んでいる子どもたちは、遊ぶ場所が限られていたり、両親の就労状況の変化に伴い、両親と一緒に過ごす時間の減少等、環境の変化により様々なストレスを抱えていました。絵を描くワークショップでは、暗いたくさんの色が混ざった絵の具で、同じところを何回も塗ったり、

落ち着きのなさを見せていました。被災地では、仮設住宅の供与期間は2018年8月までを予定していますが、あくまでも目処で復興にはさらに時間がかかります。子どもたちの心のケアの為にこれからが一番大切な時と感じております。仮設住宅からも絵を描くワークショップ開催の要請を頂いています。



2017.07. 17 宮城県亘理町 蛭とびかう夏祭り！ 200名以上の子どもたちが参加

キッズアースホーム東北のある宮城県亘理郡にて、「蛭まつり」が開催され、運営のサポートと絵を描くワークショップを開催しました。子どもたちの為に開催され、震災後は生きたかったのに生きられなかった人たちの想いも一緒にと、地元の方達が主催しているお祭りです。当日は約1万2千人の方がお祭りに来場し、200名以上の子どもたちが絵を描くワークショップに参加しました。ワークショップでは、「自分の顔」をテーマに絵を描きました。鏡を見ず、「自分の顔を思い出しながら描くことで、自己と向き合っていました。



2017.08. 27 | キッズアースホーム東北

アートギビングプロジェクト

写真をコラージュして、生き物を作ろう

アートの力で被災地を支援している、アートギビングジャパンと共に、アーティスト 神崎 千尋さんを先生にお迎えし、写真を切ってコラージュするワークショップをキッズアースホーム東北にて開催しました。たくさんの写真から素材を切り貼りし、夏に見た思い出の生き物を作りました。東京で活躍するアーティストやカメラマンと出会い、子どもたちも刺激を受けていました。素敵な作品は額に入れてプレゼント。夏休み最後の思い出となりました。



その他 Other

2017.07. 27 | 子供地球基金事務局

チャリティーレッスン

3D体験！VRゴーグル作り

My little days(太田さちか様) 主催のチャリティーワークショップ、『3D体験！VRゴーグル作り』が子供地球基金にて、開催されました。

子どもたちは交差法など様々なことを学習し、VRの世界を楽しんでいました。人間が立体視する身体能力を持っていることを実感しながら、想像力のかきたてられるワークショップとなりました。



小児病棟 Hospital

キッズアースカーププロジェクト

小児病棟 入院している子どもたちとワークショップ

- 6月27日神奈川県立こども医療センター 「絵の具を使って絵を描こう」
- 6月27日神奈川県立こども医療センター 「窓ガラスに絵を描くワークショップ」
- 6月29日慈恵医大付属病院 小児科 「オリジナルうちわを作ろう」
- 7月5日神奈川県立こども医療センター 「大きな画用紙に描こう」
- 7月5日神奈川県立こども医療センター 「窓ガラスに絵を描くワークショップ」
- 7月31日慈恵医大付属病院 小児科 「好きなものを描こう」
- 8月8日神奈川県立こども医療センター 「好きなものを描こう」
- 8月24日慈恵医大付属病院 小児科 「好きなものを描こう」

